

KGA

'00 秋季号
2000年10月1日発行

NO.72

目次

平成12年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技	1
関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技	1
ゴルファーのためのマナー基礎講座(7)	
アマチュアリズムの反時代的意義	8
(特別寄稿)	
悩みは深い“イップス”についての一考察	10
ジュニア2000年夏	
技術レベルは上がったが	13

ジュニアゴルフ大会	
満点小学生と満点大学生	17
新規加盟倶楽部紹介	21
理事会・分科委員会	22
月例競技成績表・お知らせ	24

表紙photo ジュニアゴルフ大会 若洲ゴルフリンクス(撮影・石川博英/KGA広報委員)

 関東ゴルフ連盟

競技

平成12年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成12年8月21日(月)、22日(火)

●開催コース 茨城ゴルフ倶楽部

シニア 東コース 6,488ヤード パー72

ミッドシニア 西コース 6,329ヤード パー72



ショット改造で勝ち取った二人の優勝者

—— 激戦のシニア、ミッドシニアの中に楽しい雰囲気を見た ——

文・塩田 正 (KGA広報委員)

写真・石川博英 (KGA広報委員)

平成12年度、関東シニアゴルフ選手権、ならびに
関東ミッドシニアゴルフ選手権は8月21日、22
日、茨城ゴルフ倶楽部東西両コースで行なわれた。
シニアの部では原継雄(東名)が渋谷重氏(千葉
国際)をプレーオフの末、これを破り、初優勝を
飾った。またミッドシニアの部では、新屋忠(藤
ヶ谷)が2日目アウトで逆転されながらもイン後
半で盛り返し、再逆転でこれまた初優勝に輝いた。



激戦、2つの選手権

ことしのシニア選手権は、初日に原継雄(東名)
が6アンダーの66をマークしてトップに立ち、渋谷
重氏(千葉国際)が4アンダー、中村清(水戸)、
大野勝夫(八幡)が2アンダーで追うというレベル
の高い決勝戦となった。

結局、午前中のアウトで1アンダーの35をマーク
した渋谷が追いついて原の142と並び、優勝争いは
プレーオフ戦へ持ち込まれた。

原を追う渋谷は1バーディ、ノー・ボギーの素晴
らしいゴルフを展開、アウトを終わって、原に逆
に2ストロークの差をつけて優位に立った。しか
し、その渋谷もイン後半の15、16、17番ホールで
3連続のボギーを叩き、18番ではバーディを取めた
が、結局、142で原に並ばれてしまった。

プレーオフは1番(東コース)を使って行なわれ

たが、原は第2打を左のバンカーに入れ、そこから
ピン上1メートル半に寄せバーディを狙えば、渋谷
はグリーン手前の花道からカップ下3メートルにつ
け、これまたバーディのチャンスをうかがう。渋
谷は慎重にラインを読んでストロークしたが、こ
のバーディ・パットをわずかにはずし、空を仰い
だ。これに対して原は下りのショートのパットを
見事にカップに決めて激戦にピリオドを打った。

一方、ミッドシニアは初日、田中明夫(狭山)
が1アンダー・パーでトップに立ち、新屋忠(藤
ヶ谷)が1オーバー73をマークするなど、シニア同



今年のシニアチャンピオン 原 継雄さん(東名)



ミッドシニアチャンピオン 新屋 忠さん(藤ヶ谷)

様、高い水準での優勝争いが予想された。

決勝ラウンドはアウトを終わって田中が依然、1アンダーでトップを堅持、松岡和哉(東京よみうり)が2打差、新屋、

横川尚三(唐沢)が4打差で田中を追う形となった。

だが、インにはいって田中がボギーを連発、41と崩れ、10、11番を連続バーディで急迫した新屋が16番で逆転、さらに17、18番も危なげなくパーで収め、このハーフを34でまとめて、1オーバー・パー145で初の栄冠を勝ち取った。

こうして二つのクラスの選手権は大激戦のうちに幕を閉じたが、シニアで優勝した原は、ことしからシニア入りした“新人”の一人。彼はこの選手権に「フォームを改造して臨んだのが勝因」といっている。

原の説明によると、55歳をすぎて少しはからだのことも考えなければなりません。無理なフォームよりも、骨や筋肉に負担をかけないということ。「フィニッシュを逆C型からI型にした」というのだが、このフォーム改造は、からだにやさしいという点のほかに距離を伸ばすという利点もあった。

「フィニッシュで左脚と上体が一本になるようにしたんですが、このボディ・ターンによる打ち方がよかったのか、距離が伸びたんです。こんどの大会でも8つあるロング・ホールで5つのバーディを取りましたが、2打で届くようになったのが大きかったと思います」

と“I型フィニッシュ”が距離を伸ばし、これが勝利に結びついたと力説する。

またミッドシニアで優勝した新屋もフォームを

手直ししてこのビッグ・イベントを手にした。新屋のポイントとは違ってパッティングのグリップ改良である。

「ことしの春、読売で行なわれた女子プロの試合でカーリー・ウェプを見たんです。彼女はクロス・ハンドの握りで信じられないくらいパットを沈めていましたが、翌日、彼女のグリップが新聞に大写真で出ていたのを参考に自分もやってみました。そうしたらこれはいわ、はいわ、とくに僕の苦手なショートのパットがみんなはいっちゃうんです。こんどの選手権でも、このグリップでやっただけで、長いのも短いのもはいりまくったという感じです。これが勝因です」

と世界の女王、カーリー・ウェプに学んだパットで勝利を手にしたことができたといっている。

こうして二人のチャンピオンが誕生したのだが、シニアやミッドシニアでさらに磨きをかけるためには、自分の苦手な部分を修正して、フォームの再構築が必要なことを二人の勝者の言葉が暗示している。

楽しいシニアの雰囲気

ことしのシニア選手権の優勝者である原継雄は、昭和20年生まれで、ことし初めてシニアの資格を得た。“新人”である。とはいっても原は日本アマ選手権にも出場したことがあり、れっきとした“キャリア選手”でもある。その原をはじめ、初めてことしのシニア選手権に参加したのは16名を数え、ミッドシニアに至っては、43名の多さにのぼっている。ゴルフにも高齢化の波が押し寄せてい



夏のプレーの正装



話題の二人
左 平川さん、右 羽佐間さん

る証拠だが、こうした傾向は年毎に顕著になってくるものと見られる。現にミッドシニアはことしまで予選を行なわず、一発で本選へ臨むことができたのだが、来年からは参加者増加で予選を行なう見通しになっている。

このようにシニアもミッドシニアもますますの激戦を予想されるのだが、ただ、シニア、ミッドシニアの両選手権には、若者がひしめいて覇権を争う日本アマや関東アマとは一味も二味も違った雰囲気があることも知られている。

ことし初めてシニアを戦った優勝者の原は「こんど初めてシニア選手権に参加して、試合の雰囲気が、若い連中のアマ選手権とちょっと違うことに気がつきました。シニアの場合は、なんというか、ぬくもりがあって、楽しい雰囲気なんですね。日本アマや関東アマでは『ナイスショット!』などという誉め言葉はほとんど出ませんが、シニアでは同伴プレーヤーが一生懸命誉めてくれますからね。僕もこれからはこうして雰囲気を大切に戦っていききたいと思っています」

と、シニアのかもし出す戦いの雰囲気をこんなふうに表示する。たしかにシニアやミッドシニアでは、技術面でベテランらしく若者には見られない“洗練された技術”を随所に見せるが、同時に精神面でも人間味豊かな一面が見てとれる。

昭和30年代初めに関東学生選手権や日本学生選手権で大活躍し、さらに日本アマにも出場したことがある平川基春(早大出=芙蓉)も、遠い昔の

アマ時代を振り返りながら若いアマと60歳すぎのシニアゴルフとの差をこんなふうに話す。

「すべてのショットはオレが打ったもの——こんな心構えができてきましたね。学生時代にはいい意味の自信があり、相手のことはかまわずに突っ走っていました。それがいまはスタート・ホールから恐る恐る打っていく。そして初めにもいったようにミス・ショットを打っても、それはだれのせいでもなく自分が打ったものと認めて、それを直そうとまた次の日から練習に明け暮れるんです。何ごとともぐっと自分の胸に収めて我慢する。そんな大人の雰囲気がシニアにはあるんじゃないでしょうか」

こうして“歴戦の勇士”たちは、シニアの楽しさを満喫しながらプレーしているのだが、グランドシニア入りを間近にして参加した羽佐間正雄(磯子)は、これまで関東、日本と名のつくアマ選手権に出ることがなく、今回が大きな大会での初参加組である。その羽佐間は前記のアマ選手権経験者とはちょっと違った感想をもっている。

「ゲームの雰囲気が少し暗いですね。もうちょっと年齢的なゆとりが欲しいし、終わったあと健康の話ばかりではなく、スカッとした明るい話題をもちたいものです。ゴルフは回春剤——こんな雰囲気があれば最高です」

と、倶楽部のプレーヤーとしてどっぷりゴルフの楽しさを味わってきた彼には、まだまだシニアの特徴が百パーセント発揮されていないと注文をつける。

羽佐間のようにシニアに多少の注文があるのは確かだが、相対的に見るとやはりシニア選手権やミッドシニア選手権には、勝負にばかりこだわらずに楽しい大人の雰囲気があるのは確かかなうである。

わがシニアに悔いなし

シニアやミッドシニアに毎年“新人生”がはいつてくると同時に、この時代を“卒業”してグランドシニアのほうへ上がっていく人もいる。

そんな人たちは、自分が過ぎてきたシニアの時代にどんな感想をもっているのだろうか。

平成12年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技成績表

エントリー数 145名 出場者数 137名 欠場 8名

順位	選手名	所属	第1ラウンド アウト イン 計	第2ラウンド アウト イン 計	合計
1	原 健雄	東 名	33 33 66	39 37 76	142
2	渋谷 重氏	千葉国際	32 36 68	35 39 74	142
3	中村 清	水 戸	34 36 70	37 36 73	143
3	大野 勝夫	八 幡	33 37 70	37 36 73	143
5	日下部吉男	江 戸 崎	38 34 72	38 34 72	144
5	鈴木 軍治	袖 ヶ 浦	32 40 72	37 35 72	144
5	根本 太清	水 戸	37 37 74	34 36 70	144
5	河本徳三朗	相 模 原	35 34 69	37 38 75	144
9	安井 勲	千葉スプリングス	36 35 71	37 37 74	145
9	佐々木善松	立川国際	35 34 69	38 38 76	145
11	佐藤伊佐緒	磯 子	37 35 72	37 37 74	146
11	岡庭 正春	鎌 ヶ 谷	39 36 75	34 37 71	146
11	大久保幸次	日 高	36 37 73	35 38 73	146
11	中島 廣行	泰 野	36 35 71	36 39 75	146
15	奥山 淳一	袖 ヶ 浦	37 38 75	37 35 72	147
15	河村 友正	龍 ヶ 崎	38 37 75	36 36 72	147
15	中原 貞信	南 摩 城	37 35 72	39 36 75	147
15	高安 信行	セントラル	36 36 72	37 38 75	147
19	宇賀神佐英	大 洗	37 39 76	38 34 72	148
19	平戸 進二	大 厚 木	39 38 77	35 36 71	148
19	白石 芳郎	茨 城	37 37 74	38 36 74	148
19	薄井 親男	茨城ロイヤル	38 40 78	34 36 70	148
19	佐藤 進	ザ・ファースト	38 38 76	36 36 72	148
19	山田 勲	富士河口湖	35 42 77	35 36 71	148
19	佐藤 一夫	関東国際	37 39 76	36 36 72	148
19	加部 嗣男	東 名	35 37 72	38 38 76	148
19	松井 康夫	東 名	38 35 73	37 38 75	148
19	井上 晃	日 高	35 38 73	37 38 75	148
19	鹿窪 一郎	玉 造	37 37 74	36 38 74	148
19	平井 覺	メイプルダント	36 40 76	33 39 72	148
31	渡辺 稔	横 浜	35 37 72	41 36 77	149
31	川口 三夫	小田原・松田	37 42 79	34 36 70	149
31	松沢 清之	伊 勢 原	38 37 75	37 37 74	149
31	滝山 清	水 戸	37 37 74	38 37 75	149
31	工藤 利明	埼玉国際	38 37 75	36 38 74	149
36	山口 現朗	武 蔵	38 38 76	39 35 74	150
36	滝 正元	東京五日市	35 40 75	38 37 75	150
36	小川 透	岡部チサン	35 37 72	41 37 78	150
36	水野 裕司	リバー富士	39 36 75	38 37 75	150
36	真道 豊	レインボー	35 37 72	40 38 78	150
36	足立 節雄	程 ヶ 谷	38 39 77	35 38 73	150
36	菊池 幹夫	那 珂	36 36 72	37 41 78	150
43	高橋 敏	大 妻 野	42 39 81	35 35 70	151
43	江澤 健夫	習 志 野	35 45 80	35 36 71	151
43	杉田 敬三	多 摩	36 39 75	39 37 76	151
43	榎本 隆	津久井湖	33 39 72	41 38 79	151
43	稲田 一男	関東国際	37 37 74	37 40 77	151
43	大村 静	リバー富士	35 38 73	37 41 78	151

順位	選手名	所属	第1ラウンド アウト イン 計	第2ラウンド アウト イン 計	合計
49	田中 倉造	日 高	36 40 76	39 37 76	152
49	望月 清	富 士 宮	38 38 76	39 37 76	152
49	小林 智	長 瀬	36 35 71	42 39 81	152
49	成田 稔	都 賀	38 39 77	36 39 75	152
49	金子 航二	東 千 葉	38 39 77	36 39 75	152
49	河野 晃	甲府国際	37 35 72	40 40 80	152
49	木目田碩史	箱 根	36 38 74	37 41 78	152
56	小暮 卓	浦 和	35 43 78	38 37 75	153
56	小澤 博	習 志 野	39 40 79	36 38 74	153
56	久田 寿男	武 蔵	37 40 77	37 39 76	153
56	木村 敏之	嵐 山	37 38 75	39 39 78	153
56	伊藤 幸雄	霞 台	38 37 75	38 40 78	153
56	小川 光生	川 越	38 37 75	37 41 78	153
56	関根 宏一	鷹 之 台	39 36 75	36 42 78	153
63	石田 弘行	中 山	39 38 77	40 37 77	154
63	植松 潤一	沼 津	36 43 79	38 37 75	154
63	青藤 征修	南 摩 城	36 40 76	40 38 78	154
63	森山 茂雄	横 浜	38 39 77	38 39 77	154
63	平野誠四郎	成田スプリングス	38 39 77	38 39 77	154
63	伊達 宗敏	東 名 厚 木	38 39 77	38 39 77	154
69	前田金十郎	千葉廣済堂	41 39 80	38 37 75	155
69	新田 元大	埼玉国際	42 38 80	37 38 75	155
69	村山 正光	嵐 山	39 40 79	38 38 76	155
69	敷下 武義	千葉新日本	37 42 79	38 38 76	155
69	藤城 悠下	野 比	38 41 79	37 39 76	155
69	矢口 建雄	穴 戸	39 38 77	38 40 78	155
69	高橋 正敏	入 間	36 41 77	38 40 78	155
76	柳沢 和夫	都 留	40 39 79	41 36 77	156
76	高橋 佑吉	東 松 山	36 44 80	40 36 76	156
76	山田保太郎	平 川	38 39 77	42 37 79	156
76	矢島堅太郎	霞 ヶ 関	41 42 83	35 38 73	156
76	大作 清春	千 葉	43 38 81	36 39 75	156
76	北口 吉明	埼玉国際	39 41 80	37 39 76	156
76	勝俣 忠義	富 士	39 41 80	36 40 76	156
83	岡田 光正	嵐 山	40 39 79	41 37 78	157
83	佐藤 正信	GMG八王子	42 40 82	37 38 75	157
83	養毛 勇	習 志 野	39 40 79	39 39 78	157
83	松本 肇	武 蔵	43 38 81	37 39 76	157
83	三代 健一	花 生	35 42 77	40 40 80	157
83	金住 則行	千葉スプリングス	41 37 78	39 40 79	157
83	望月 功一	武 蔵	37 39 76	40 41 81	157
83	村田 博文	我 孫 子	39 38 77	38 42 80	157
83	吉永 征宏	関越ハイランド	41 39 80	34 43 77	157
83	寺田 湧一	扶 桑	35 38 73	41 43 84	157
93	萩原 克爾	戸 塚	40 42 82	39 37 76	158
93	川口 紀史	富 士	42 39 81	35 42 77	158
93	秋谷 泰次	成田スプリングス	36 39 75	41 42 83	158
96	堀内 勝正	千葉廣済堂	39 39 78	43 38 81	159

永井重吉(磯子)は平成9年のミッドシニアで水越要(日光)と優勝争いを演じ、惜しくもプレーオフで破れたが、永井はミッドシニア時代を終えて、こんな感慨をもらしている。

「シニア、ミッドの両方を合わせると9回でているが、一番忘れ難い思い出は、やはり、水越さんとのプレーオフで敗れたあの大会ですね。1番ホールはボギーで分け、2番ホールで私がワン・ピンの長さのバットをはずして、水越さんがピンにからんだのを入れてバーディー、これで勝負がついたのですが、あの2ホールはいまでもはっきり思い出することができます」

と、やはり永井の思い出は優勝を賭けたプレーオフの一戦だという。と同時に年を追うごとにミッドシニアのレベルが高くなることにも関心を向ける。たしかにことしの優勝スコアは前記新屋の73、72の1オーバー、それに日本ミッドシニア選手権へ出場資格は、154ストローク(マッチング・スコアカード方式)となっている。コースによる難易の差はあるかもしれないが、優勝スコアや日本ミッドシニアへの通過スコアを見ると、たしかにそのレベルは上昇の一途をたどっているのがわかる。

「シニアの時代には数々の思い出がありますが、この時代を楽しく過ごせたのは、やはりプレーヤーのみなさんのマナーがよく、気持ちよくプレーできたからだと思っています。姉ヶ崎では優勝を逃がしましたが、いまではそれすらも楽しい思い出です。しかし、これで私のゴルフの挑戦は終わったわけではなく、グラウンドが待っています。



新人ですから思い切ってプレーしたいと思っていますし、1年でも長くグラウンドシニア選手権でプレーできるように健康に気をつけたいと思っています」

と、永井はシニア、ミッドシニア時代を懐かしむ間もなく、心は早くもグラウンドシニアへと飛んでいる。

ミッドシニア選手権に連続5回出場し、「精勤賞」でグラウンドシニアへ進む小谷野利三(飯能)は、「今回はコースの対応もよく、選手権の雰囲気お互いに尊敬し合う気持ちがよく出ていたと思います。ただ、最近はシニアといっても体力の上では、かなりアップしていると思うんです。そこで例えばシニア選手権は58歳から64歳とするなど、年齢区分を考えた方がいいのではないのでしょうか。その点、ことしからグラウンドシニアの人がミッドシニアやシニアへといったぐあいに年齢の下クラスに出場できるようにしたのには大変よいことのように思います。年をとっても下のクラスへ挑戦したいという人はかなりいると思うからです」

と、シニアの雰囲気のよさを認めながらも、現役のシニア、ミッドシニアにちょっとした注文をつける。たしかに「8つのロング・ホールのうち5ホールがバーディ」(原健雄)という凄い記録が見られるなど、シニアやミッドシニアの選手たちはよく飛ばすし、シニア選手権では優勝はアンダー・パーというのも定着しつつある。もちろん激化するシニア、ミッドシニアに水を差すつもりは毛頭ないが、現状の体力溢れるプレーぶりを見ると、やがてそのうち「55歳でシニア入りでは若すぎる」という声も挙がってくるかもしれない。



平成12年度 関東シニアゴルフ選手権決勝競技成績表

順位	選手名	所 属	第一ラウンド アット イン 計	第二ラウンド アット イン 計	合計
96	太田 正孝	東名厚木	38 41 79	42 38 80	159
96	岩下 良雄	川 越	43 37 80	41 38 79	159
96	石原 勲	富 士 川	40 41 81	40 38 78	159
96	高橋 久雄	東 松 山	36 43 79	41 39 80	159
96	野々下 稔	栃 木	40 41 81	39 39 78	159
96	大場 宣明	紫 塚	38 40 78	40 41 81	159
96	小原 秀浩	大 利 根	39 37 76	41 42 83	159
104	松崎 秀泰	総 武	38 40 78	41 41 82	160
104	相馬 久男	袖ヶ浦	38 38 76	41 43 84	160
106	清宮 和男	千葉国際	40 45 85	38 38 76	161
106	相田 昭	東 松 苑	42 37 79	42 40 82	161
106	松野 眞三	府 中	38 42 80	41 40 81	161
109	内田 治雄	東 千 葉	41 41 82	40 40 80	162
110	佐藤 春雄	八 幡	43 43 86	36 40 76	162
111	小久保武夫	藤 岡	39 42 81	41 40 81	162
112	三枝 節	藤ヶ谷	38 41 79	42 41 83	162
113	宮沢 義高	万 木 城	42 41 83	37 42 79	162
114	大和 昭光	船 橋	39 39 78	41 43 84	162
115	園部 昌宣	ツインレイクス	40 43 83	42 38 80	163
116	岩崎 伝造	鳩 山	41 44 85	39 39 78	163
117	中川 健一	入 間	38 43 81	39 43 82	163

■関東シニアゴルフ選手権予選競技メダリスト

第1ブロック (埼 玉)

山口 現朗 (武 蔵)

69ストローク

今井 一男 (鴻 巣)

69ストローク

高橋 正敏 (入 間)

69ストローク

白石 亮 (高 坂)

69ストローク

大野 勝夫 (八 幡)

66ストローク

第2ブロック (スカイウェイ)

佐々木善松 (立川国際)

73ストローク

第3ブロック (ザ・オーシャン)

河野 晃 (甲府国際)

70ストローク

第4ブロック (愛 鷹)

順位	選手名	所 属	第一ラウンド アット イン 計	第二ラウンド アット イン 計	合計
118	小宮 康彦	相 模 湖	36 43 79	40 44 84	163
119	佐藤 敏弘	富士 笠 岡	41 41 82	42 40 82	164
120	加藤 喜正	嵐 山	37 48 85	39 40 79	164
121	松原 功	桜ヶ丘	41 41 82	44 39 83	165
122	内山 英明	岡部チサン	38 44 82	41 42 83	165
123	園部 昌之	富士 笠 岡	42 43 85	36 44 80	165
124	桜本 隆	南 総	43 41 84	43 39 82	166
125	小澤 達	御 荷 鈴	44 44 88	38 40 78	166
126	船越 茂人	スプリングフィールド	39 41 80	43 45 88	168
127	今井 一男	浦 巢	42 45 87	37 45 82	169
128	斎藤 雅一	飯能グリーン	44 41 85	44 46 90	175
	上野 進	高 根 (棄権)			
	中村 仁八	浦 和 (棄権)			
	石井 幹	千葉スプリングス (棄権)			
	高村 幸夫	富士 箱 根 (棄権)			
	露木 勝治	愛 鷹 (棄権)			
	田代 誠	ザ・レイクス (棄権)			
	鹿窪 茂	セントラル (棄権)			
	平井 建三	利 根 (棄権)			
	須藤 文雄	富士 箱 根 (棄権)			

順位	選手名	所 属	第一ラウンド アット イン 計	第二ラウンド アット イン 計	合計
26	永井 重吉	磯 子	37 41 78	38 39 77	155
26	六本木 清	岡部チサン	35 41 76	39 40 79	155
31	岡村 光治	那須 小川	40 41 81	36 39 75	156
31	植田 春夫	水 戸	41 41 89	37 40 77	156
31	大村 豊	富士 箱 根	42 35 77	39 40 79	156
31	義沢 伸良	大 相 模	39 38 77	38 41 79	156
31	中村 巖 武 蔵		41 37 78	36 42 78	156
31	友廣 幹夫	赤城国際	38 35 73	41 42 83	156
37	森 泉	袖ヶ浦	39 41 80	42 35 77	157
37	館谷 俊雄	千 葉	39 38 77	42 38 80	157
37	足立今朝六	総 武	40 36 76	42 39 81	157
37	保田 宏	袖ヶ浦	40 39 79	39 39 78	157
37	山本 泰朗	セントラル	36 39 75	43 39 82	157
37	龍川 茂美	戸 塚	36 43 79	39 39 78	157
37	山田 享弘	武 蔵	37 37 74	43 40 83	157
37	野村 義弘	飯 能	37 39 76	41 40 81	157
37	新美 啓悦	嵐 山	40 40 80	37 40 77	157
37	和泉 茂	フォーシーズン	38 39 77	39 41 80	157
47	網中 一郎	霞ヶ関	41 38 79	40 39 79	158
47	河合 一男	清 川	41 38 79	40 39 79	158
47	富田 純	嵐 山	39 38 77	41 40 81	158
47	鈴木 健明	双葉バティック	37 37 74	44 40 84	158
47	矢島 昇	入 間	39 40 79	38 41 79	158
52	伊藤 俊秋	清 川	42 41 84	38 37 75	159
52	水越 要	日 光	42 38 80	41 38 79	159
52	岡田 四郎	千 葉	40 43 83	38 38 76	159
52	勝保 幸雄	富 士	40 41 81	39 39 78	159
52	瀧野 幸三	霞ヶ関	40 43 83	37 39 76	159
52	中村 正利	桜	40 39 79	41 39 80	159
52	久保 博光	茨 城	39 39 78	42 39 81	159
52	大野 光雄	大 相 模	44 37 81	39 39 78	159
52	加々美幸男	川 越	40 40 80	39 40 79	159
52	安田富士雄	紫	40 37 77	42 40 82	159
52	八木 高男	大 相 模	41 36 77	42 40 82	159
63	天野 雅之	茨 城	41 41 82	41 37 78	160
63	大林 仁	総 武	41 40 81	41 38 79	160
63	大島 吉陽	岡部チサン	41 38 79	41 40 81	160
63	大川 宗之	南 南	40 43 83	37 40 77	160
63	山部 豊	ザ・鹿野山	42 39 81	38 41 79	160
63	上梅沢 彰	磯 子	39 40 79	39 42 81	160
63	尾関 秀夫	武 蔵	41 37 78	40 42 82	160
63	塩田 正	立 川 国 際	39 39 78	40 42 82	160
63	小松 雅美	麻 生	38 39 77	40 43 83	160
63	末吉 信夫	栗橋国際	38 40 78	39 43 82	160
63	菊地 泰司	戸 塚	41 38 79	38 43 81	160
63	益田 一利	戸 塚	37 40 77	40 43 83	160
63	福岡 悠紀	ヴィラ夢科	40 40 80	37 43 80	160
76	石原 義	鶴 舞	42 40 82	43 36 79	161
76	小谷野利三	飯 能	41 41 82	40 39 79	161
76	高田 武俊	中 山	42 38 80	42 39 81	161
76	井草 茂	関東国際	41 43 84	38 39 77	161
76	小林謙次郎	川 越	41 40 81	41 39 80	161
76	古川 修造	湯 河 原	40 42 82	39 40 79	161

順位	選手名	所 属	第一ラウンド アット イン 計	第二ラウンド アット イン 計	合計
76	羽佐間正雄	磯 子	38 40 78	41 42 83	161
83	高尾 修	鳩 山	39 45 84	37 41 78	162
83	常藤 李王	佐 倉	43 39 82	39 41 80	162
83	浅見 東司	嵐 山	43 42 85	36 41 77	162
83	市川金次郎	美 里	41 41 82	39 41 80	162
87	高田 健治	磯 子	40 40 80	45 38 83	163
87	林 吉郎	唐 沢	39 44 83	42 38 80	163
87	山中 義衛	嵐 山	43 39 82	43 38 81	163
87	平野 次男	嵐 山	44 39 83	41 39 80	163
87	木村 俊夫	大 相 模	39 38 77	45 41 86	163
87	根本 光治	鎌ヶ谷	43 38 81	41 41 82	163
87	平川 基春	茨 倉	39 41 80	41 42 83	163
87	新松 秀雄	津 久 井 湖	38 43 81	39 43 82	163
95	平野 元一	廣済堂埼玉	41 40 81	44 39 83	164
95	松永 哲	野 田	41 41 82	41 41 82	164
95	井上 伯夫	立 川 国 際	40 43 83	40 41 81	164
95	梅澤 文雄	横 浜	43 42 85	38 41 79	164
99	青木 通雄	利 根	47 39 86	41 38 79	165
99	松浦 節夫	八 幡	42 41 83	41 41 82	165
99	小池 政一	越 生	41 39 80	43 42 85	165
102	桑嶋 定利	か ず さ	44 42 86	40 40 80	166
102	佐藤 清二	浦 巢	40 39 79	46 41 87	166
102	原澤寿三男	鶴 舞	42 39 81	42 43 85	166
105	堀内 良一	富 里	40 42 82	43 43 86	168
105	海老利喜雄	フォーシーズン	42 40 82	42 44 86	168
107	藤本 賢	嵐 山	39 46 85	44 40 84	169
107	高嶋 一	嵐 山	42 42 84	40 45 85	169
109	奥村 忠	桜	46 42 88	42 40 82	170
109	遠藤 修三	マイブルポイント	47 38 85	44 41 85	170
109	出山 信雄	八 幡	43 41 84	44 42 86	170
112	内野 和夫	八 王 子	48 40 88	43 40 83	171
112	瀬山 栄治	か ず さ	42 46 88	41 42 83	171
112	前田 博之	富士御殿場	45 43 88	41 42 83	171
115	三浦 武雄	鶴 舞	44 43 87	43 42 85	172
115	山崎 博晴	富 士	41 41 82	45 45 90	172
117	西山 英雄	湯 河 原	46 42 88	45 40 85	173
118	木村 利夫	平塚富士見	46 47 93	39 42 81	174
119	中村 政美	利 根	45 42 87	40 48 88	175
120	天沼 利時	船 橋	49 43 92	43 41 84	176
120	齋藤 芳康	霞ヶ関	43 47 90	43 43 86	176
120	加藤 昌男	千 葉	46 41 87	45 44 89	176
123	安藤 龍男	京 葉	44 46 90	42 45 87	177
124	望月 輝明	戸 塚	45 44 89	47 47 94	183
125	山本 善久	双葉バティック	52 42 94	49 43 92	186
126	田中 賢一	津 久 井 湖	50 47 97	50 48 98	195
	富田 誠二	都 留 (失格)			
	山本 利次	真 名 (棄権)			
	西田 博	伊豆大仁 (棄権)			
	池永 敏雄	利 根 (失格)			
	小幡 政雄	利 根 (棄権)			
	内藤 市郎	茂 原 (失格)			
	荒川 健	双葉バティック (棄権)			

平成12年度 関東ミッドシニアゴルフ選手権競技成績表

エントリー数 145名 出場者数 133名 欠場 12名

順位	選手名	所 属	第一ラウンド アット イン 計	第二ラウンド アット イン 計	合計
1	新屋 忠	藤ヶ谷	37 36 73	38 34 72	145
2	松岡 和康	東京よみうり	36 38 74	35 38 73	147
3	横川 尚三	唐 沢	39 36 75	36 37 73	148
3	田中 明夫	狭 山	37 34 71	36 41 77	148
5	森泉 清	草 津	38 38 76	39 35 74	150
5	平澤 角治	マイブルポイント	39 36 75	39 36 75	150
5	加倉井満郎	新 水 戸	36 39 75	39 36 75	150
5	野本 俊夫	袖ヶ浦	38 38 74	38 38 76	150
9	太田 英二	桜ヶ丘	40 36 76	38 37 75	151
9	佐々木喜堂	大熱海国際	35 40 75	38 38 76	151
9	角南 道弘	中 山	36 37 73	40 38 78	151
12	田口喜三郎	水 戸	39 37 76	39 37 76	152
12	柴崎 行雄	一 の 宮	38 38 76	37 39 76	152
12	土居 喬	藤ヶ谷	36 38 74	39 39 78	152

順位	選手名	所 属	第一ラウンド アット イン 計	第二ラウンド アット イン 計	合計
12	清水 祥一	狭 山	39 34 73	39 40 79	152
12	富田 一幸	ザ・鹿野山	40 35 75	36 41 77	152
17	鈴木 正治	府 中	40 37 77	40 36 76	153
17	高橋 孝一	千 葉	36 39 75	41 37 78	153
17	志田 宜男	小 御 門	39 36 75	41 37 78	153
17	高橋伊佐男	GMG八王子	41 36 77	39 37 76	153
17	中馬 正伸	大 相 模	39 35 74	39 40 79	153
22	市川 勇	美 里	41 37 78	38 38 76	154
22	間中 正	大 利 根	38 40 78	38 38 76	154
22	島田 省司	鶴 舞	33 41 74	39 41 80	154
22	松本 清孝	鳩 山	36 37 73	39 42 81	154
26	市川 二郎	大 相 模	39 40 79	40 36 76	155
26	稲葉 英治	総 武	40 39 79	40 36 76	155
26	相良 清	中 山	39 38 77	40 38 78	155

⑦ ゴルファーのためのマナー基礎講座

アマチュアリズムの反時代的意義

文・鷲巣 力 (スポニチ編集委員)
カット・山縣和彦

ゴルフというスポーツは、一方で、プロフェッショナルリズムを発展させ、年間収入が数億円に達する超一流プレーヤーも生んでいる。明日の超一流プレーヤーを夢見て、幼いときから練習に励んでいる、あるいは励まされている少年少女も少なくないことだろう。他方、今もアマチュアリズムを掲げて、アマチュア資格にきわめて厳密な姿勢を取る、今となっては数少ないスポーツでもある。

◆ 古代ギリシアにもあった賞品競技 ◆

ゴルフに限らず、スポーツにおけるアマチュアリズムとプロフェッショナルリズムという問題は、古くて新しいやっかいな問題である。

そもそも「スポーツsport」という言葉は、中世英語の「(仕事から解放された)遊び、慰み、息抜きdisport」に由来する(頭音が消失してsportとなった)。ところが一方、「競技athletics」という言葉、「金のために競争する」ことを意味するギリシア語の「athlein」を語源とするそう(「E.A.グレイター『アマチュアリズムとスポーツ』」)。実際、古代ギリシアの競技会で、勝利者は高価な賞品を手に入っていたのである。

もう一つの「競技game」の語源は「賭け事gamble」の語源と同じで「gamen(娯楽)」である。もちろん、これですべてが納得できるわけではないが、アマチュアリズム問題の一端は理解できるだろう。

これらに従えば、アマチュアリズムとプロフェッショナルリズムの問題は、スポーツが競技になった古代にまで遡ることになる。加えて、アマチュアスポーツがプロスポーツを生んだのではなく、プロスポーツがあって後に、アマチュアスポーツが発達したのだ、ということを物語る。

◆ 近代アマチュアリズムの形成 ◆

19世紀から20世紀初頭にかけて、スポーツが上流階級に普及するようになり、ヨーロッパ、ことにイギリスで「アマチュアリズム」という考え方が生まれ、この言葉はいくつかの意味になっていた。

第1、「アマチュア」は「ジェントルマン」とほぼ同義だった。「ジェントルマン・アマチュア」と呼ばれる上流階級の人びとが、自分たちと下層階級の人びとを区別または差別するための言葉だった。ジェントルマンはスポーツを「生活の手段」や「金的手段」とするような「卑しい」行為はしない。だが、この意味でのアマチュアリズムが復活することは、ないと考えてよいだろう。

第2、特定な職業につく者は、仕事を通して技能や体力を発達させるので、アマチュア競技への参加を認めなかった。その後に、この意味は逆転して、職業をもっていない者はアマチュアと認めないという考え方になる。一見正反対のように見えるが、同じ考え方に基づいている。要するに、他者よりも好条件でトレーニングができる環境にある者は、競技において有利になるから、アマチュア資格が認められなかったのである。「機会均等」の考えともいえる。

これはそんなに古いことではない。20世紀のスポーツの普及はオリンピックの発達と深くかわっているが、



に4週間以上、トレーニングのために休んではならないという条項が記されていた。ただし、この条項は他のアマチュア条項とともに1974年に撤廃された。

第3は、スポーツをもとものの意味の「遊び、慰み、息抜き」として、愛好すべき対象であるとする。「アマチュアamateur」はラテン語「amator(愛好家)」に由来する。今でも英語の「amateur of wine」は、ワインに関して素人だという意味ではなく、ワイン愛好家という意味である。

アマチュアたちは、競技からプロを排除しようとした。そして、愛するスポーツだからこそ、スポーツの本質は勝敗にあるのではなくその内容にあり、「スポーツによって、いかなる金銭的報酬も得てはならない」という結論に至った。

◆ アマチュアリズムは「人生の哲学」 ◆

20世紀は「スポーツの世紀」といってよい。今世紀にスポーツは大衆化した。同時に、その技術を高度化させた。スポーツが大衆化すればするほど、そしてスポーツ技術が高度化すればするほど、スポーツは「ビジネス」と結びつき、「プロフェッショナルリズム」の性格を濃くする。今では日本の高校野球でさえ、もはやアマチュアリズムとはいえないだろう。いや、そもそもアマチュアリズムとプロフェッショナルリズムを区別する客観的な基礎など存在しないのだ。

オリンピックは当初からプロフェッショナルリズムの問題をかかえ、その問題を解決できないまま20世紀後半を迎える。国際オリンピック委員会(IOC)が、1974年に憲章からアマチュア条項を削除したのは、スポーツの大衆化と高度化を求めて

きた以上、当然の結論であったといえる。キラン会長はオリンピックの商業化、プロ化に道を開き、サマランチ現会長は、あくことなく徹底的にその道を推し進めた。

それより以前、オリンピックのアマチュアリズムを四苦八苦して守ろうとした人物がいた。ブランデー元会長である。ブランデーは、アマチュアリズムは「人生の哲学」だと言った。しかし、これは迷言ではない。鋭く核心をついた発言だ。

◆ 精神の砦としてのアマチュアリズム ◆

「アマチュアリズム」とは、その競技に携わる人たちが、競技にどのように関わるかという「信条」のことである。

決してスポーツから経済的利益を得ない、という信条の下にその競技の競技者となる。断言していいことだが、この信条は今の世の中では決して流行らない。

プロ化の道を進んだすべての競技は、名誉名声のみならず、莫大な収入を約束する手段となる。しかも、この現実を否定する根拠は、ないに等しい。にもかかわらず、ゴルフ界では、一方でプロフェッショナルリズムを認めつつ、他方、限定された範囲でアマチュアリズムを堅持しようという。しかも、アマチュアリズムをプロフェッショナルリズムよりも優先させようとする、その態度は、決してアナクロニズムではない。むしろその反時代的姿勢にこそ、深く高い、今日的意義がある。

こうした姿勢を貫けば、1200万人を越えるといわれるゴルフ競技人口が減るかもしれない。あるいはオリンピックの正式種目に採用されることがないかもしれない。しかし、必ずしも競技人口の多いことが誇ることではない。オリンピックの種目になることが貴いわけでもなからう。

今日の世の中、スポーツのみならず、あらゆる領域で金(かね)本位主義が跋扈している。人生万事、金の世の中だからこそ、一切の営利を否定するアマチュアリズムの信条を堅持する姿勢。それには正当に敬意を表すべきである。いつの時代だって、風車に立ち向かうドン・キホーテが、人びとに勇気を与え、精神の砦となってきたのだから。

特別寄稿

悩みは深い “イップス”についての一考察

文・田辺規充（精神科医、狭山ゴルフ・クラブ競技委員）



一般のゴルファーの方の中には、イップスというものについてよく知らないという方もいると思いますので簡単に説明します。

誰が言い出したのか、また言葉の定義もはっきりしてはいないのですが、狭義の意味では練習では何でも無い1〜2メートル程のパットが競技で緊張のあまり震えて打てなくなる、あるいは筋肉が痙攣して、カッタンと強く打ってしまい遥かにオーバーしてしまうことを言い、広義ではアプローチ、バンカー、アイアン、ドライバーに至るまで緊張のあまり体が固くなってうまく打てなくなることを言います。

イップスについての論文は皆無

私はゴルフ好きの精神科医ですが、多少の興味を持って大学の図書館に行って検索してみましたところ、驚いたことにほとんど論文が無いのです。



ここ10年で日本の論文はもちろん無く、海外でも2つ程で、ひとつはイップスになった群と、なかった群とも筋肉に異常は認められず違いは認められなかったというもの。もうひとつは両者の間に精神病理学的差異は認められなかったというもので、これは練習では異常がないことを考えればごくあたりまえの結論と思われます。そこで普段ゴルフばかりして遊んでいる罪滅ぼしに何とか実態を明らかにし、できるならば治療法を見つきたいと調査をしてみる事にしてみました。

ちょうど、私の所属する狭山ゴルフ・クラブで関東アマチュア選手権競技の決勝が開かれましたので、それに参加した156名の選手にアンケートを取って見たところ次のような結果が得られました。

回答は56名からあり回答率は36%となりました。トップアマチュアを選んだのは、普通のアマチュアの手本であり、より多くのことを経験してきていると思われるからですが、母集団としてはやはり多少偏っていることと、回答率が低かったため統計的な手法は取ることができず、今回の結果はすべてそのような傾向があるということで考えてください。

年齢

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代
数	1	4	20	14	15	2

ハンデキャップ

HDCP	4以上	3	2	1	0	+1	+2
数	3	6	7	14	13	6	5

ゴルフ歴

10年未満	10〜19年	20年以上
5	15	29

イップスの始まったときの年齢

10代	20代	30代	40代	50代
3	9	9	7	2

イップスの始まるまでのゴルフ歴

5年未満	5〜9年	10〜19年	20年以上
9	6	10	6

イップスの始まった時のハンデキャップ

5以上	4	3	2	1	0	+1以上
8	3	5	0	4	5	4

イップスになった経験の有無

有	無
37	19

イップスになったきっかけの有無

有	無
14	20

対処の方法

打ち方	道具	その他	対処出来ない
12	5	7	11

相談した相手

ゴルフ仲間	ゴルフのプロ	カウンセラー等
23	2	2

うまく動かない手はどちら側ですか

右手	左手	両手
10	6	17

動かないときはどの様になりますか

体が固くなり しびれて打てない	筋肉が痙攣して 強く打ってしまう	その他
18	19	0

パット以外のクラブでも同様のことが起こりますか

ドライバー	アイアン	アプローチ	バンカー
3	4	14	2

イップスと日常生活でのあがり症の関係

イップスの経験がありあがり症でもある人	イップスの経験があるがあがり症ではない人	イップスの経験が無いがあがり症の人	イップスの経験も無いがあがり症でもない人
12	22	6	6

性格との関係

イップス経験有り									
社交的	外向的	陽気	まじめ	几帳面	情にもろい	神経質	負けん気	闘争心	対人関係に気を使う
17	7	12	17	9	15	9	17	13	23

イップスは人間関係の狭間で生じる

今回の調査をするにあたりイップスの原因や起こり方を、自分なりにある程度予測してこのアンケートを作ったのですが結果は予想とは大分異なるものとなりました。イップスとは年をとることによって視力が衰え、或いは乱視のために目から入る情報が実際とは異なり、そこからくる不安感が試合の緊張により一層強化されて手が思うように動かなくなるのだとか、長い間大事なパットをはずし続けた悪いイメージが蓄積され、不安感が生じるとか考えていたので、イップスは体や視力の衰える40台後半、或いはハンデキャップでいえば1打の重みを痛感する6〜9くらいから起こってくるものと思っていましたが実際は異なっていました。イップスになりやすい年齢や経験年数、ハンデキャップというようなものはないのです。

次に、あがり症との関係をみてみると、これも精神科の常識とは異なり、イップスの経験がある方はほとんど日常生活であがって困ることが無いのです。逆に普段あがり症で困っているような人はむしろイップスになる確率が低いのです。

性格との関係で言えばイップスになった経験が



ある人は社交的で陽気、まじめ、情にもろく、負けん気、闘争心が強い、そして対人関係に気を使うという傾向が認められます。わかりやすく言えばイッブスになりやすい人物像とは、明るく社交的でゴルフに対してまじめに取り組み、仲間とグループを組みやすくゴルフ場ではむしろ、ずうずうしく思われるほど自信と闘争心にあふれ、あいつは緊張することがあるのだろうかと思われているようなタイプです。逆にイッブスになりにくい人物像とは、内向的で人とあまり交わらず普段は神経質で緊張しやすいタイプです。イッブスになった経験があると答えた人の実に7割近くが、対人関係に気を使うと答えていることは特記すべき事と思います。イッブスというもの人間関係の狭間で起こってきていることを示唆しています。

つまり彼らは試合だから緊張するのではなく“こんな簡単なパットまさかはずさないだろうな”と周囲に期待され、また“こんなのははずしたらみっともないから入れなきゃ”と自分を“入れなきゃ、入れなきゃ”と追い込むことで緊張するのです。そして、手が震えビビっている自分に気がつき、他のことでは何でも無いのにまさか自分がこんなことになるなんてと、どんどん泥沼にはまってしまうのです。

治療の第一歩、ゴルフ仲間には告げない

そこでイッブスになりかけの場合、あるいはま

だ軽症の場合の治療の第一歩は、自分の手が震えてうまくパットが打てないことを周囲のゴルフ仲間には言わないことです。ゴルフ仲間はたいいていの場合ある意味でライバルですので、自分がイッブスであることを打ち明けた途端に次のパットからは短いパットのたびごとに“あいつまたはずすぞ”と陰の期待を持って見られ、自分も“嫌だなーまたはずしたらどうしよう”と予期不安を持つ事になるのです。実際問題として、このような陰の期待の場に入り予期不安を募らせながら、正常にパットをすることは不可能に近いことなので、周囲の期待通りにパットをはずしてしまうのです。この悪循環に陥るのを防ぐために、決して周囲に安易に自分の弱みを打ち明けてはいけません。こうした場合にすぐに気楽に相談できる窓口と、確固たる治療プログラムが必要と考えていますが、残念ながらここ10年精神医学の分野で世界でも日本でもイッブスの治療について述べた論文はないのです。

私は今回の調査結果を基に精神科医としての経験とゴルファーとしての経験をあわせて軽症から重症まで、カウンセリングから薬物療法まで幾通りかの治療を試験的に行っていますが、まだ症例数が少なく公表するほどではありません。今後症例を増やし結果がよければまたどこかで御知らせしたいと思っています。

以上簡単ではありますが、今回のアンケートの結果をまとめて御知らせいたしました。イッブスが年齢とは関係が無いこと、通常のあがり症とは異なること、なりやすい性格傾向、なりにくい性格傾向があること、回答のあった56名の内7割近くの人がイッブスになった経験があり、現在のところ経験が無い人でも上記のなりやすい性格傾向を持った人は今後なる確率が高いこと、なった際に相談する専門家がなくゴルフ仲間相談していること等、現状と問題点が明らかになりました。

これらのことを踏まえて、今後更に調査研究を進めていきたいと思ひます。

御忙しい最中にアンケートに協力して頂いた選手の皆さん、KGAの役員の皆さんに感謝いたします。(カット・山縣和彦)

●ジュニア2000年夏

技術レベルは上がったが……

文・吉川英明 (KGA広報委員)
写真・舟橋一芳 (KGA広報委員)

猛暑の続く今年の夏だったが、8月4日、決勝最終日の大根根カントリークラブは薄曇り、適度の風も出て比較的のびやかな陽気だった。

毎年、ジュニアの大会を見るたびに思うのだが、年々ジュニアの技術向上は目覚ましい。

今年も、男子15～17歳の部で優勝した中島徹君のスコアは6アンダーの138である。

女子の優勝者は、木下歩美君が1オーバー73。12～14歳の部では男子の池田勇太君は2アンダー、まだ幼く見える女子の津島さやか君でさえ78という好スコアでの優勝である。

「凄いよねえ。高校生だと149で回っても9位、やっとベストテンだからねえ。我々が大学生のころだって、140台だったら大威張りだったもんだがなあ」

とは、スコアボードを見上げながらのある古いゴルファーの述懐である。

たしかに、今の高校生、いや中学生ですら、そのゴルフは凄い。ドライバーの飛距離はプロ顔負けだし、上位の選手となるとバンカーやグリーン周りのショットにも多様な打ち方をマスターしていて、実にそつがない。とても中学生とは思えない大きな生徒もいるし、今後5年10年後にどんな選手に成長するか楽しみな子が大勢いる。



今年のチャンピオン 左より中島徹君(男子15歳～17歳)、池田勇太君(男子12歳～14歳) 木下歩美さん(女子15歳～17歳) 津島さやかさん(女子12歳～14歳)

だが、そんな我々の楽しみを黒く塗りつぶすような事件が今年も起きた。

顔末はこうである。

某高校の選手のボールが11番のラフで見つからず、ロストボールとなった。

打ち直して戻ってきた後、皆で探していた場所よりかなり前の方でフォアキャディーのおばさんがボールを見つけたところ、その選手が怒り出して、「どこを探しているんだ。このくそキャディー」と怒鳴ったというのである。

もうその場所から離れて歩き出していた同じ組の選手にも、20メートルほどのところにいた競技委員の一人にも、はっきり聞こえるほど大きな声だった。

連盟の委員はこれを重視して、プレー終了後、その組の3人全員から事情を聴いた。

本人は「かつ



全身ばねのようなフォーム



同伴者とはすぐ仲良くなり笑顔でラウンド

となつて、つい怒鳴ってしまった。申し訳ありません」と事実を認め謝ったが、競技委員長はこの選手を失格とした。

当然の処置だと思う。こうした選手は、どんなにゴルフが上手くても、スポーツマンとしての競技者失格である。

一昨年は、スコア改ざん、去年は、全日本選手権でのごとだったが、ゴルフ場のロッカー壊し等々、ジュニアの競技には毎年、関係者を暗澹とした思いに落ち込ませる不祥事が後を絶たない。

問題とは“家庭の躰”

こうした非常識な行為の原因は、日ごろの家庭や学校、殊に幼いころからの家庭の躰にあると思う。非常識な行為をそれほど異常だと思わない感覚が体に染み込んでしまっているのだ。



わが子のスコアに一喜一憂

そんなことを思いながら、表彰式に並んでいて、入賞した選手の大部分が、きちんとした礼が出来ないのに気がついた。

名前を呼ばれて前に出る。前川競技委員長からメダルをかけてもらい握手をし、お辞儀をして席に帰る。これだけの短時間の簡単な動作の間、きちんとした姿勢を見せた選手は皆無である。手はぶらぶら、足は半開き、握手のときもお辞儀のときも、委員長と目を合わせる子供もほとんどいない。目を伏せるか、どこかあらぬ方を見

たま握手をしお辞儀をする。中には、委員長がもう一度頭を下げたときには、もう背中を向けている選手もいた。

別に直立不動のギクシャクした礼法を求めているのではない。どこかに若者らしいきりりとした“決まり”が欲しいのだ。

日常の挨拶がきちんと出来ていないから、こういう場所ですらない礼しか出来ない。そして日ごろそれを誰も教えない。何故だろう。

きちんとした礼法は、これから世界や羽ばたこうという子供たち、いや大人になろうという子供たちにとって、ゴルフのマナーやルール以前に身に付けていなければならない大切なことである。

我々は、ゴルフ場で、人間としてのこんな基礎的なことから教え始めなければならないのか……表彰式を見ながらそう思うと、何か淋しくなった。



ギャラリートは心配気な父兄一杯

平成12年度(第21回) 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

男子15歳～17歳の部

●開催日 平成12年8月3日(木)～4日(金)
●会場 大利根カントリークラブ・東コース
6,710ヤード・パー72

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド 72パイン 計	第2ラウンド 72パイン 計	合計
1	中島 徹	駿台甲府 (1)	32 37 69	34 35 69	138
2	市原 弘大	埼玉平成 (3)	38 38 76	36 32 68	144
2	松村 道央	佐野日大 (2)	36 37 73	36 35 71	144
2	小原 淳	成城学園 (2)	40 32 72	35 37 72	144
2	尾野 仁啓	厚木北高 (3)	36 37 73	36 35 71	144
6	平井 皇太	日体荏原 (3)	38 35 73	34 38 72	145
6	佐野健太郎	児玉高 (3)	36 35 71	37 37 74	145
8	藤田 尚希	水 城 (3)	38 35 73	38 36 74	147
9	小川 純一	厚木北高 (3)	38 37 75	40 34 74	149
10	白川 裕司	学館浦安 (1)	39 38 77	38 35 73	150
10	篠原 利明	千葉商業 (2)	37 37 74	37 39 76	150
10	丸山 聖	学館浦安 (1)	35 38 73	37 40 77	150
10	佐藤 達也	千葉学芸 (1)	38 35 73	40 37 77	150
10	高山 之賀	水 城 (3)	35 38 73	40 37 77	150
15	安木 隆介	厚木北高 (3)	42 36 78	37 36 73	151
15	川崎 巨樹	水 城 (3)	37 42 79	37 35 72	151
15	佐藤 好晃	曉 秀 (3)	39 39 78	36 37 73	151
15	勝又 崇之	小山高 (1)	37 38 75	39 37 76	151
15	加藤 大幸	埼玉栄 (2)	36 39 75	37 39 76	151
15	北田 隼士	埼玉平成 (2)	38 35 73	39 39 78	151
21	加藤 将明	埼玉栄 (2)	39 37 76	37 39 76	152
21	加藤 成二	日大高一 (1)	35 41 76	38 38 76	152
21	平塚 智幸	小瀬高 (3)	36 39 75	39 38 77	152
21	伊藤 祐太	学館浦安 (2)	38 37 75	40 37 77	152
21	糸井 中	水 城 (2)	37 37 74	39 39 78	152
21	額賀 辰徳	埼玉栄 (2)	36 38 74	38 40 78	152
21	小野 英秋	佐野日大 (3)	36 37 73	41 38 79	152
21	大濱 考洋	埼玉栄 (3)	35 37 72	41 39 80	152
29	久保谷公貴	埼玉栄 (2)	40 39 79	37 37 74	153
29	益瀬 元氣	日体荏原 (3)	40 40 80	37 36 73	153
29	早乙女剛史	佐野日大 (1)	36 41 77	37 39 76	153
29	秋野 哲弥	成城学園 (3)	37 38 75	40 38 78	153
29	平井 宏昌	埼玉栄 (2)	38 36 74	43 36 79	153
34	渡邊 悠太	埼玉栄 (1)	38 37 75	37 37 73	154
34	鈴木 英児	水 城 (2)	40 35 75	42 37 79	154
34	名倉 康太	星 陵 (3)	38 36 74	42 38 80	154
37	浦郷 夏希	星 陵 (3)	41 37 78	40 37 77	155
37	奥山 裕士	修 徳 (2)	33 38 71	41 43 84	155
39	西村 和也	多摩高 (3)	40 39 79	41 36 77	156
39	橋本 一徳	日大三島 (3)	39 39 78	37 41 78	156
39	中西 昌也	JGAジュニア	39 40 79	38 39 77	156

順位	選手名	学校名/学年	第1ラウンド 72パイン 計	第2ラウンド 72パイン 計	合計
39	遠藤 智樹	東海大三高 (2)	40 36 76	43 37 80	156
43	小林 勇介	埼玉平成 (3)	41 38 79	38 40 78	157
43	西川 剛	日体荏原 (3)	39 41 80	38 39 77	157
43	吉住 彰康	日大高一 (2)	37 39 76	41 40 81	157
46	江間 広起	横浜 高 (2)	40 38 78	41 39 80	158
46	藤田 勇樹	佐野日大 (3)	38 39 77	42 39 81	158
46	渡辺 悠	埼玉栄 (1)	40 41 81	37 40 77	158
49	金光 善太	立 正 (3)	42 38 80	37 42 79	159
49	平瀬 直也	農大三高 (3)	40 40 80	41 38 79	159
49	茂島 和希	佐野日大 (1)	41 40 81	41 38 78	159
49	橋爪 光彦	佐野日大 (1)	40 42 82	37 40 77	159
53	平瀬 勇太	埼玉平成 (2)	38 41 79	40 41 81	160
53	渡邊 顕次	駒場学園 (3)	41 40 81	39 40 79	160
53	大山 大輝	豊多摩高 (3)	43 37 80	39 41 80	160
53	宮崎 亮他	厚木北高 (3)	44 38 82	41 37 78	160
53	高橋 宣辰	千葉学芸 (1)	40 42 82	39 39 78	160
58	岡田 豪太	慶應義塾 (2)	39 41 80	40 41 81	161
58	中村 亮太	駿台甲府 (1)	40 42 82	41 38 79	161
60	久保井裕喜	日体荏原 (3)	37 42 79	39 44 83	162
60	河本 真典	日大三高 (3)	38 41 79	41 42 83	162
60	伊藤 聖悟	国士館 (2)	38 38 76	45 41 86	162
60	羽生 淳一	水 城 (1)	43 39 82	42 38 80	162
64	内田 康介	相 洋 高 (3)	39 42 81	40 42 82	163
65	黒政 拓馬	釜利谷高 (3)	40 40 80	39 45 84	164
65	澤木 正宏	埼玉栄 (2)	39 43 82	41 41 82	164
65	鈴木 将裕	沼 田 高 (1)	42 39 81	42 41 83	164
65	中島 崇治	日大鶴ヶ江 (2)	38 44 82	40 42 82	164
69	佐藤 尚	日大三高 (3)	41 38 79	44 42 86	165
69	松口 英樹	向 上 (3)	40 41 81	44 40 84	165
69	金子 国泰	大宮開成 (3)	40 41 81	41 43 84	165
69	真田 利彦	東大和南高 (2)	38 44 82	44 39 83	165
69	宮崎 学	法政二高 (3)	41 41 82	41 42 83	165
74	大野 祐也	埼玉大深谷 (2)	42 38 80	40 46 86	166
74	内田 恭史	水 城 (3)	40 42 82	45 39 84	166
74	小林 正明	佐野日大 (3)	38 44 82	40 44 84	166
77	東 慎也	埼玉栄 (3)	40 40 80	45 43 88	168
77	鈴木 宏	明大中野 (1)	38 43 81	45 42 87	168
79	木村 徹	鳩 山 高 (2)	41 41 82	43 44 87	169
80	高柳 祐介	日大三高 (1)	39 42 81	45 45 90	171
81	山中 雅道	鳩 山 高 (3)	40 38 78	50 48 98	176
(失格)	中村 友彦	埼玉栄 (2)			

平成12年度(第21回) 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

女子15歳～17歳の部

●開催日 平成12年8月4日(金)
●会場 大利根カントリークラブ・東コース
6,028ヤード・パー72

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	木下 歩美	泉 (3)	36	37	73
2	飯島 茜	新島学園 (2)	35	40	75
2	下村真由美	埼玉栄 (3)	37	38	75
4	安田 記子	武蔵野 (2)	40	36	76
4	三塚 優子	埼玉栄 (1)	36	40	76
4	荒幡 桂子	埼玉栄 (2)	40	36	76
7	鈴木ゆり子	日大三島 (2)	39	39	78
8	飯塚 千重	武蔵野 (3)	41	39	80
9	金子 未来	厚木北高 (2)	39	42	81
9	三田 華苗	佐野日大 (2)	42	39	81
9	長谷真美子	小山 高 (3)	42	39	81
9	下川めぐみ	厚木北高 (2)	44	37	81
13	旭岡 友美	日体荏原 (2)	39	43	82
14	徳村 彩	厚木北高 (3)	42	42	84
15	杉山 加奈	埼玉栄 (1)	44	41	85
15	中里さや香	浦和学院 (3)	46	39	85
17	高橋友希子	埼玉栄 (2)	48	42	90

女子12歳～14歳の部

●開催日 平成12年8月4日(金)
●会場 大利根カントリークラブ・東コース
6,028ヤード・パー72

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	津島さやか	鹿島中 (3)	37	41	78
2	小山恵利子	足立十三中 (2)	39	40	79
3	三川 遼恵	瀬田中 (2)	39	42	81
4	佐藤 里菜	六角橋中 (3)	42	42	84
4	横須賀直美	桜丘中 (3)	42	42	84
6	後藤 路子	城山中 (3)	39	46	85
7	安田このみ	女子聖学院 (3)	42	46	88
8	山岸 舞彩	日本女子大 (2)	47	43	90
9	林 佳世子	川村中 (3)	46	45	91
10	田村 麻衣	立正中 (3)	50	46	96

男子12歳～14歳の部

●開催日 平成12年8月4日(金)
●会場 大利根カントリークラブ・東コース
6,710ヤード・パー72

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	池田 勇太	葛城中 (3)	35	35	70
2	大沼 孝祐	ザ・サウスポート (8)	37	34	71
3	山岸慎太郎	慶應義塾 (3)	36	38	74
3	木下 裕太	千城台南中 (2)	36	38	74
3	岡田 壮広	佐野城南中 (3)	38	36	74
6	池之上拓也	御所ヶ丘中 (2)	40	35	75
7	斉藤 麗	石和中 (3)	39	38	77
8	頼所 卓	松戸四中 (3)	38	40	78
8	篠塚 直彦	小見川中 (2)	38	40	78
8	塚田 陽亮	新島学園中 (3)	39	39	78
11	渡邊 優登	日大一中 (2)	38	41	79
12	伊藤 勇気	小見川中 (1)	38	42	80
12	岡田 卓麻	千葉日大一中 (2)	39	41	80
14	肥田 佳大	学園浦安中 (1)	41	40	81
14	真田 雅彦	立川四中 (2)	39	42	81
14	田谷 智春	明野中 (3)	42	39	81
17	芳賀 洋平	鎌ヶ谷三中 (3)	41	41	82
17	井上 紳也	東京八王子中 (2)	42	40	82
17	吉田 真典	御前山中 (2)	37	45	82
20	石井 啓太	飯岡中 (1)	38	46	84
20	橋田 圭介	石和中 (3)	41	43	84
22	鬼沢 友秀	府中七中 (1)	44	41	85
23	江間 博之	大鳥中 (2)	43	44	87
23	石田 翼	岡部中 (3)	40	47	87
25	篠原 貴史	湘洋中 (3)	43	46	89
26	石田 翔	岡部中 (1)	48	44	92
(欠場)	高橋 隆人	並根中 (2)			

ジュニア ゴルフ大会

満点小学生と罰点大学生

文・写真 石川博英
(KGA広報委員)

ここ2、3年、ジュニアに関しては、ごく一握りの不心得者の言動が問題となり話題となった。

そこで私は、意図的に明るい話題を取材すべく、会場の「若洲ゴルフリンクス」に出向いた。

先ずは、年の端もいかないうち小学5、6年生に、こんな素晴らしいジュニアゴルファーのいることを紹介しよう。

ハーフラウンドを1時間35分でラウンドした小学生

服部大輔君(藤代高須小6年)、野村昌広君(学習院初等科6年)、鈴木崇仁君(聖徳学園小5年)の3名のスタートは8時15分だった。

もちろんセルフバックである。3人とも歩行も早く、素振りも1回、タイミング良くスタンスをとり、すぐショット、グリーン上ではピンに寄ろうが寄るまいが、誰れかが必ず旗竿を抜き、先きにホールアウトした者がピンを立て次のホールに向かう。

と記すと、読者の方々は、“当たり前”とお考えになろうが、この一連のごく当たり前の事がわれわれ大人の世界で励行されているかどうかもお考えいただきたい。

このようなプレーを9ホールつづけて、ハーフの所要タイムは1時間35分であった。私はほんの2～3ホール同行するつもりでいたが、すっかり感服し、気がついたらハーフをついてまわってしまった。

ちなみにハーフのスコアは服部君36、野村君43、鈴木君40であった。おまけに、野村君は16番のショートホールで見事にホールインワン——ゴルフの神様も感心し、ごほうびをプレゼントしたに違いない。(KGAでも記念メダルを贈ることになった由)。

どうかこのまま汚染されずに、すくすく立派なゴルファーに育ってほしい。

私は久しぶりにさわやかな取材をすることができた。



ホールインワンを記録した野村昌広君のショット

男子4～6年生入賞者にメダル贈呈

上って来て、お父さんに報告して...

スコアラーに「お願い致します」と挨拶

暑くて気分が悪くなった子供の看護...

早朝のスコアラーミーティング 全員が父兄

対象的だった日本学生ゴルフ選手権

なにもゴルフの世界だけのことではないが、中、高、大学と進むにつれて、世俗の毒気が体に染みつき、首をひねるゴルファーになってしまう。

私は今年の日本学生選手権を担当して取材したが、いやはや、大変なものであった。技術論は私の任ではない。なんともしどい服装でのプレーぶりであった。

「茶髪」「シャツはみ出し」「ズボンは腰骨の下」「裾は破れて糸がたれ」「ジーパン」「耳にピアス」

余りのひどさに私はあきれた。ええ。

こんなことではいけない。いろいろ意見はあるが、JGA、KGAはドレスコードを定める時期にさしかかっている。

コードは、応援する父兄にも適用したい。ゴルフ場と海水浴場と一緒にしている服装が目立つからだ。ランニングにゴム草履、Tシャツで、女性はタンクトップ——いやはや、どうなっているのだろう。

気持ちの良い話題を提するつもりが、最後に苦言になってしまったことをお許しあれ。

平成12年度 第6回 ジュニアゴルフ大会成績表

6・5・4年生 男子の部

●開催日 平成12年8月29日(火)

●会場 若洲ゴルフリンクス 5,044ヤード パー72

ランク	選手名	学校名 / 学年	スコア
1	大瀧 崇真	吉岡小 (6)	69
2	大槻 智春	神栖町立大野小 (5)	73
3	大田和桂介	港区立芝浦小 (6)	74
3	袖山 哲朗	浜松市立船越小 (6)	74
5	服部 大輔	藤代町立高須小 (6)	75
5	高橋 良輔	大宮市立春岡小 (6)	75
7	吉田 研一	千寿本町小 (6)	76
7	一柳 光輝	新 城 小 (5)	76
9	羽方 雄基	谷和原町立小 (6)	78
9	池上 大介	松田町立寄小 (6)	78
9	重田 純輔	大森第四小 (5)	78
12	狩野 純平	千葉市立金沢小 (5)	80
13	加藤三四朗	紅 梅 小 (6)	81
14	鈴木 崇仁	聖徳学園小 (5)	82
14	野田 早人	世田谷区立大塚小 (5)	82
14	宇佐美祐樹	成城学園初 (6)	82
14	高柳 直人	白鳥西小 (6)	82
14	黄金井健太	玉川学園小 (6)	82
19	岡田 勝麻	千葉市立若松小 (5)	83
19	板井 将大	草津小 (5)	83
19	山田 弦也	日野市立日野第五小 (5)	83
22	星野慶二朗	国立学園小 (6)	84
22	青木 龍一	関東学院六浦小 (6)	84
24	野村 昌広	学習院初 (6)	85
24	鶴谷 竜一	新宿区立善第二小 (6)	85
26	柳 東賢	東京朝鮮第五初 (6)	86
26	坂上 伶央	中央区立佃島小 (6)	86
26	中村 優太	富士吉田市立吉田西小 (6)	86
29	藤原 聡史	豊島区立大成小 (6)	87
30	水上 龍樹	子母口小 (6)	89
31	中竹 俊温	山武町立睦岡小 (6)	91
32	菅原 詔一	横浜国立大学小 (4)	92
32	牧 智也	唐 沢 小 (6)	92
34	内野 敬民	富士見市立水谷小 (5)	93
34	尾崎 貴将	青山学院初 (4)	93
36	北山 祐	武蔵村山市立第十小 (6)	94
36	中島 涼太	川崎市立今成小 (4)	94

ランク	選手名	学校名 / 学年	スコア
36	山口 拓也	厚木市立相川小 (4)	94
39	松田 貴晴	新富区立西戸小 (5)	95
40	前田 男	所沢市立東所沢小 (6)	96
41	森井 裕太	藤沢市立滝ノ沢小 (5)	97
41	北川 祐生	江戸川区立小松小 (4)	97
43	永井 翼	浜松市立城北小 (6)	99
44	一柳 輝一	新 城 小 (4)	100
45	穴戸 翔太	平 戸 小 (5)	101
45	富松 和彦	横浜国立大学小 (6)	101
47	服部 滋多	慶應義塾幼稚舎 (6)	102
47	大澤 圭介	鶴 岡 小 (6)	102
49	大住星太郎	学習院初 (5)	103
49	谷口祥太郎	川越西小 (4)	103
51	天野 翼	内原町立妻里小 (5)	104
52	植松 拓海	横浜市立山内小 (4)	105
52	林 宏樹	市川市立富貴小 (6)	105
54	遠藤 慶祐	つくば市立二の宮小 (4)	106
54	田島 昇	越生町立越生小 (6)	106
56	高見澤大樹	練馬区立開進第三小 (4)	108
57	堀口 亮	台東区立育英小 (6)	111
58	荒井 聡	館林市立第五小 (6)	112
59	青柳 弘夢	山梨大附属小 (6)	114
60	金 志深	南 砂 小 (6)	115
61	足立 茂昭	八街市立川上小 (5)	117
62	常世誠道	旭市立矢指小 (4)	118
63	木俣 鉄平	静岡大附属浜松小 (6)	119
63	堀口 裕輔	静岡大附属静岡小 (6)	119
65	荒井 健人	横浜市立西前小 (4)	120
66	松田 直人	杉並区立浜田小 (5)	125
67	三浦龍之輔	横浜市立川上小 (6)	128
68	足立 茂晴	八街市立川上小 (4)	139
69	高野 峻大	東部町立田中小 (4)	152
70	杉内 光	目黒区立東根小 (4)	205
(棄権)	西山格之進	日出学園小 (4)	
(欠席)	戸谷 公人	玉川学園小 (4)	
(欠席)	上林 泰裕	藤沢市立中里小 (6)	
(欠席)	京岡 政治	曉 星 小 (5)	

平成12年度 第6回 ジュニアゴルフ大会成績表

6・5・4年生 女子の部

●開催日 平成12年8月29日(火)

●会場 若洲ゴルフリンクス 5,044ヤード パー72

ランク	選手名	学校名 / 学年	スコア
1	小橋絵利子	万寿東小 (6)	79
2	南雲 貴菜	碧 山 小 (6)	85
3	杉山沙羅紗	武蔵野市立井之頭小 (5)	88
4	斎藤 愛瑠	厚木市立南毛利小 (5)	89
5	阿部 悠	加茂市立加茂南小 (5)	90
5	田中 理沙	佐久市立佐久城小 (6)	90
7	小笠原好美	浜松市立藤田小 (6)	91
7	清宮 緑	市原市立市原小 (6)	91
7	鎌田 真美	清 明 学 園 小 (4)	91
10	若林舞衣子	加茂市立加茂小 (6)	92
11	鎌田 博美	清 明 学 園 小 (5)	95
12	杉山 美帆	東 所 沢 小 (6)	96
12	水嶋明香里	曾 我 小 (5)	96
14	宅間 祥子	東 柴 又 小 (5)	98
15	野村 美優	岡 国 小 (5)	103
16	松村 結紀	文京区立関口台町小 (6)	107
17	瀬戸友紀奈	筑波大附属小 (5)	114
17	山口 莉恵	浜松市立元城小 (5)	114
19	小松 麻衣	朝 日 小 (5)	115
20	木戸 愛	横須賀市立神明小 (5)	117
21	鈴木 美帆	慶應義塾幼稚舎 (5)	118
22	太田 蘭	浜松市立元城小 (5)	121
23	塚本 あい	みずほ台小 (6)	122
24	伊藤 早紀	千葉市立本町小 (6)	129
25	三山 美穂	武 蔵 野 東 小 (6)	130
26	西村 友美	玉川学園小 (5)	137
(棄権)	正木ひかり	川崎市立中野島小 (4)	
(欠席)	山下ゆりえ	世田谷区立松丘小 (5)	

3・2・1年生 男子の部(OUTコース)

●開催日 平成12年8月29日(火)

●会場 若洲ゴルフリンクス

選手名	学校名 / 学年	スコア
佐藤 秀徳	鎌倉市立植木小 (3)	42
小林 克也	小諸市立水明小 (3)	45
長船 佑紀	正 気 小 (3)	45
中川 翔太	岩舟町立岩舟小 (3)	47
伊山 祐介	大田区立徳持小 (3)	48
納富 一輝	江東区立第一大島小 (3)	49
小西 貴紀	葛飾区立上平井小 (3)	50
柘植野 徹	横浜市立東本郷小 (2)	51
保田 和	土浦市立乙戸小 (3)	51
坂坂 達	北区立第四岩淵小 (3)	52
鶴田 雄司	慶應義塾幼稚舎 (3)	52
高花 翔太	市川市立南新浜小 (2)	58
武田 純	戸 塚 小 (2)	61
酒井 勇輝	板橋区立志村第五小 (3)	61
久田 将晃	戸 田 南 小 (2)	64
土橋 晃太	山 崎 小 (2)	67
穴戸 遼	平 戸 小 (2)	83
佐藤 宇弘	鶴ヶ島市立栄小 (3)	(欠席)

3・2・1年生 男子の部(INコース)

●開催日 平成12年8月29日(火)

●会場 若洲ゴルフリンクス

選手名	学校名 / 学年	スコア
石川 遼	松伏町立松伏小 (3)	48
小袋 秀人	横浜国立大学小 (3)	48
高野 欣也	大 和 田 小 (2)	52
小峰 駿介	柿ノ木台小 (2)	60
荒井 優	館林市立第五小 (3)	67
村山 真悠	洗足学園大附属小 (2)	68
今村 拓臣	三 鷹 第 六 小 (2)	68
遠藤 周祐	つくば市立二の宮小 (2)	71
高原 雄輝	清 明 学 園 初 (3)	84

3・2・1年生 女子の部(INコース)

●開催日 平成12年8月29日(火)

●会場 若洲ゴルフリンクス

選手名	学校名 / 学年	スコア
潮浅 舞姫	千葉県立高洲第三小 (3)	52
清宮 恵	市原市立市原小 (3)	52
小橋 梨紗	浜松市立新津小 (3)	55
那須 愛	藤城町立久賀小 (3)	58
福西 悠生	学芸大附属世田谷小 (3)	72
渡辺 李紗	鎌倉市立小坂小 (3)	84
渡辺みれい	保谷市立第二小 (2)	94
上林 静香	藤沢市立中里小 (3)	(欠席)
山下 菜美	世田谷区立松丘小 (2)	(欠席)



女子4～6年生 3人の入賞者



競技委員長の講評を聞く 1～3年生クラス

よき時代のよきゴルファー 鈴木太郎さん逝く

——福田 彰関東ゴルフ連盟理事長に聞く——
聞き手・塩田 正 (KGA広報委員)

——鈴木太郎さんが亡くなりました。鈴木さんは関東ゴルフ連盟の常務理事を昭和56年から2年間、そのあと58年には副理事長、そして60年から顧問をされていました。KGAにとっても大変功績のあった方ですが、同時にプレーの面でも古きよき時代の素晴らしいゴルファーと伺っております。97歳で亡くなる直前まで現役としてプレーなさっておられたということですが——。

福田 8月24日に北海道から帰ってきて、その6日後に亡くなったということですが、なによりも97歳までプレーされていたということは素晴らしいことです。8月21日からの北海道旅行は奥さまから「ゴルフはやらないで下さいね」といわれて出かけたそうですが、どうやら北海道ではプレーされたらしい。それで帰ってきて、ふだんは口にしたことのない「疲れた」という言葉を残し、病院で点滴を受け、その後に亡くなられたということ。まさに極楽往生で、ゴルフ者として最高の死だったのではないのでしょうか。

——鈴木さんがゴルフを始めたのは46歳のときからと聞いていますが——。

福田 鈴木さんは日本のテニス界でも名を成した人ですが、46歳でゴルフを始められたということです。で、50年、半世紀にわたってゴルフを愛されてきたのですが、亡くなる直前まで年間80ラウンドをプレーされていたと相模CCの関係者から伺いました。それもラウンド中はカートを使わずにつねに歩いてプレーしていたというのです。まわりの人が「カートを使われたら」というと「オレを馬鹿にするな」とか「年寄り扱いするな」とカートの使用については耳を貸さなかったそうです。足腰がしっかりしておられたからですが、同



相模カンツリーでは例年、暮れの30日に倶楽部仕舞。最長老のタクトで全員が“蛍の光”を合唱する。1999年12月30日は鈴木さんが元気に指揮をとられた。

時に、数年前にKGAの会議室でお会いして、いろいろお話を伺ったことがあるのですが、話っぷりも明快だし、記憶力も非常に確かでした。ほんとうにお年を感じさせない人でした。

——スウィングの技術には相当こだわっておられたということですが——。

福田 46歳から始めて湯河原CCの倶楽部チャンピオンになったり、また同倶楽部のシニアとグランドシニアを合わせて8回も、獲得され、相模CCでもグランドシニアを1回とられています。レート・ビギナーからトップ・アマにまで昇りつめられたのですから、技術面の勉強はかなりされたと思います。これは相模CCの関係者のお話ですが、鈴木さんは世界有数のレッスン・プロ、ディビット・レッドベターが日本でもてはやされているとき原書を読んで研究されたという話が伝わっております。多分、90歳前のことだと思いますが、ゴルフに向けられた情熱には頭が下がる思いです。そして鈴木さんはゴルフが上手だったというばかりではなく、昔風の面影を残す大変風格のある人でした。ゴルフには厳しく、人のお付き合いには温かみのある一口でいえば、今はあまりお目にかかれないイギリス紳士といったらいいのでしょうか。現在はゴルフも変革の時期にきていますが、鈴木さんのような本当にゴルフを愛した人に日本のゴルフの進む道なども聞いておけばよかったと今は大変残念に思っております。誌面を借りて心からご冥福をお祈り申し上げます。

日本体育大学校友会ゴルフ部より ジュニア育成のためにご寄付いただきました

去る平成11年12月21日に、日体大ゴルフ部の祝勝会が開催されました。同大ゴルフ部は日本学生界の雄であり、部員の中島雅生君が日本オープン、関東オープンのベストアマ、太田直己君が日本学生チャンピオン、中田範彦君が関東アマチャンピオンの栄冠をかちとっております。

席上、参加者パーティ費の一部をKGAジュニア育成委員会に寄付することが発表されました。そして、12

年7月12日にゴルフ部後援会会長の鮫島康孝氏から来盟し、大鷲俊朗ジュニア副委員長に金20万円が手渡されました。



鮫島康孝氏(右)より寄金を受ける大鷲副委員長

カメラヒルズカントリークラブ



1. 倶楽部名 カメラヒルズカントリークラブ
住 所 〒299-0221
千葉県袖ヶ浦市大竹265
電 話 0438-75-4111
F A X 0438-75-4150
2. 開場年月日 平成2年11月15日
3. 理事長 藤原 貞夫 (S10.1.16生)
倶楽部代表者 藤原 貞夫
4. 倶楽部分科委員長 選任中
5. 総支配人 杉田 晋次 (S15.11.8生)
6. 倶楽部概要

当倶楽部は、千葉県南部に位置し地形に恵まれた上総台地の上に広がる丘陵コース。コースは、18ホール 6,680ヤード・パー72 (アウト 3,291ヤード・イン 3,389ヤード) のゴルフ場です。フェアウェイは広くフラットで、グリーンはベントのワングリーン。どのホールもオーソドックスながら挑戦意欲をかきたてられる設計が魅力。アウトの6番は、距離のあるミドルでハンディ1の難ホール。インは全体の距離があり、林間コースの趣がある。

名物ホールは14番ホール、フェアウェイの大きな2本杉が印象的な美しいロングホール。コース内には、各ホール特徴のある花木が植栽されている。

アクセスは、自動車の場合、館山自動車道、木更津北ICから4.6km8分に位置し、東京都心、横浜市内から1時間でご利用頂けます。

イトーピア千葉ゴルフコース(準会員)



1. 倶楽部名 イトーピア千葉ゴルフコース
住 所 〒297-0073
千葉県茂原市長尾1647
電 話 0475-22-8317
F A X 0475-26-5152
2. 開場年月日 平成12年4月1日
3. 支配人 長谷川 幸彦 (S22.4.1生)
4. 倶楽部概要

当コースは千葉県中部西地区、日本三大七夕まつりの一つ「茂原七夕まつり」で知られる茂原市の閑静な住宅街に位置する交通至便な立地条件にあります。コースは佐藤謙太郎氏の設計で、テーマは「光と影」、基本コンセプトは「雄大で美しく且つ戦略性の高いコース」とした通り、フラットで広々としたフェアウェイのなか、池とバンカーが美しく映え、各ホールに難度のリズムのある、ゴルファーの挑戦欲をかきたてる印象的なものになっています。主な特徴は、①グリーンに「オーガスタ・ナショナルGC」にも使われた「L93」を採用していること、②ソフトスパイクの使用をお願いしていること、③乗用カートによるセルフプレーであること、④トゥーサム、ハーフからプレー可能なナイター営業(4～11月)を行なっていることです。

名物ホールであり、最も難しいホールの1つでもある6番ミドルホールは、パーON狙いには確実にIPをとらえる必要があり、2ndショットもロングショットが必要となります。ゴルファーに技術、感覚、判断力を求めたホールであり、いわゆるTHINKING GOLFを楽しむホールになっています。

コースへの交通アクセスは何通りかありますが、都心からは京葉道路「千葉東J.C.T」から千葉東金道路「大宮I.C」経由、千葉外房有料道路「大沢出口」までのルートが最も分りやすくなっています。大沢出口終点からは一般道を行ってわずか5kmほどです。途中、両側にコンビニエンスストアのある交差点を右折して5分ほどでコースに到着します。電車をご利用の場合は、JR外房線「茂原駅」下車、タクシーで20分ほどです。

理事会・分科委員会

平成12年度 第2回理事会議事録

日 時 平成12年9月21日(木) 正午
場 所 ホテル国際観光 寿の間
出席者 福田理事長
中井、古賀、尾関各副理事長
赤羽、海老原、楠本、小宮山、
小山、藤井、前川、渡邊各常
務理事
新井、稲川、磐田、岩宮、大
原、古賀、篠崎、神場、菅、
高橋、田村、塚原、塚本、南
学、人見、広中、福嶋、福田、
森川、吉澤、渡辺各理事

—討議及び決議事項—

福田理事長、議長を務め、定刻開会
を宣した。

1. 新規加盟申請倶楽部、及び(財)日 本ゴルフ協会個人入会審査の件

●9月21日現在正会員及び準会員と
して加盟申請のあった次記3倶楽
部につき、慎重審議の結果加盟を
承認した。

正会員
カメラアヒルズカントリークラブ
(千葉県)

準会員
①イートピア千葉ゴルフコース
(千葉県)

②アバイディングクラブゴルフ
ソサエティ (千葉県)

個人会員
9月21日現在入会申請のあった荒
谷勝俊氏他152名の者の入会を承
認し、JGAに届けを提出すること
とした。

2. 改革実行委員会報告、及び提案

中井改革実行委員長より、「当委員

会は4回に亘って開催され、第1次～
3次特別委員会の答申書、及び第4回
委員会直前に発表された「JGAゴル
フ振興計画案」に基づいて策定した」
との答申書起草経緯報告の後、佐藤
事務総長が素読した。また、最終案
は11月17日開催の第5回委員会にお
いて策定し、常務理事会、理事会に答
申する旨の報告もなされた。

次いで、尾関副理事長より「JGAゴ
ルフ振興計画」について、説明報告
がなされ、審議を開始した。

各理事より活発な意見交換がなされ
た後、福田理事長より「JGAゴルフ
振興計画」については、10月10日開
催のJGA理事会にKGAとしての賛否
を諮る必要がある旨の提案がなされ
た。

結論として、大方の了解が得られた
時に実施することを条件とする「条
件付賛成案」が決議された。

3. 平成13年度～14年度各都県理事 候補推薦委員の件

各都県別に推薦委員を次記の諸氏が
選任された。

新潟県	斎藤文志郎
長野県	赤羽 功
群馬県	小山 裕一
山梨県	田中 経策
栃木県	滝沢 武
茨城県	古賀 始
埼玉県	尾関 秀夫
千葉県	渡邊満之助
東京都	小宮山義孝
神奈川県	岩宮 浩
静岡県	前川 昭一

次いで佐藤事務総長より各都県別に
代表者会議等開催の上、理事候補に
ついては12月20日迄にKGA迄連絡を
頂くよう依頼、了承された。

4. 分科委員会報告、及び提案

①競技委員会

新井委員長より次記新設競技開催
の提案があり、これを承認した。

イ、関東ミッドアマ (男女)

13年度以降開催

ロ、関東シニアオープン

関東オープンの代替競技とし
て、今後賞金等具体的に検討
の上、各都県持廻りで開催す
る計画を策定

ハ、女子倶楽部対抗

多くの女子ゴルファーより要
望の本競技については、昨今
のゴルフ界の事情を考慮し、
先ずはアンケート調査にて賛否
を問ひ、回答の如何によっては
平成14年度より実施したい。

②ハンディキャップ委員会

渡邊委員長よりG-sys採用につき
理事倶楽部の率先採用の要請がな
され、了承した。

また、無料貸与については、13年
度以降継続の是非、貸与条件等再
度委員会において検討する旨報告
があり了承した。

③広報委員会

高橋委員長より13年度以降関東イ
ンターネットサイト推進の為、
KGAホームページ開発運営の経費
として、13年度予算案に計上する。
尚、10月～12月を目途にプロジェ
クトチームを設置する旨の報告が
あり、これを承認した。

④ジュニア育成委員会

前川委員長よりジュニア育成活動
アンケートの結果報告の後、各都
県毎にジュニア育成委員会設置を
推進する旨の説明がなされ、モデ
ル提供の要請がなされた。

⑤コース・レート委員会

大原委員長より、JGAハンディキ

理事会・分科委員会

ャップ委員会、理事会の決定に従
い、コース・レート認定期間を15
年とし、以上のコースについては、
再査定することになった旨の報告
提案があり、了承された。

尚、再査定料は無料 (但し、交通
費、宿泊費等の実費は有料) であ
ることの報告もなされた。

⑤事務局

佐藤事務総長より、年会費未納倶
楽部の現況報告と都県別理事各位
の納入助言を要請、了承した。

以上をもって全議題審議を終了し、
福田議長14時55分閉会を宣した。

平成12年9月21日

議事録確認署名者

議長 福田 彰 (印)

署名者 海老原 亀久寿 (印)

篠崎 勝 宏 (印)

平成12年度 第3回月例競技委員会議事録

日 時 平成12年7月14日(金)12時40分
場 所 KGA会議室
出席者 斎藤委員長
山崎、中野各副委員長
岡野、加藤、小池、桜井、嶋
田、平山、三木各委員
学生連盟委員

—討議及び決議事項—

1. 7月度競技報告及び総括

中野副委員長より、下記の報告及び
総括がなされた。
「男子のプレーがどうしても遅れて
しまうため、カートにて巡回をし、
注意を喚起した。コースの特性等
の問題もあるが、男女のスタート時
間の間隔を変更する等、検討が必要
であろう。朝から非常に暑い一日
であったが、倶楽部側の協力もあり、

権者は一人もいなかった」。

エントリー数他は以下のとおり

開 催 日 平成12年7月10日(月)
コ ー ス 総武カントリークラブ
総武コース
エントリー 164名(男子120名、女子44名)
欠 席 者 数 事前連絡8名(男子)
当日連絡3名
(男子2名、女子1名)

無 断 欠 席 0名

出 場 者 数 153名(男子110名、女子43名)

科 罰 者 0名

ミーティング欠席 0名

失 格 者 1名(女子=6-6-b)

棄 権 者 0名

次回プレーオフ なし

2. 月例出場資格者の件

システム再構築中のため、完成次第、
委員会にて報告。

3. 8月のテーマ

- プレーの進行に留意し、前の組と
の間隔をあげないよう、注意する
こと
- 使用しないティ・グラウンドの歩
行を禁止する

平成12年度 第4回月例競技委員会議事録

日 時 平成12年9月1日(金)12時40分
場 所 KGA会議室
出席者 斎藤委員長
山崎副委員長
岡野、加藤、桜井、嶋田、平
山、松井、湯原各委員

—討議及び決議事項—

1. 8月度競技報告及び総括

山崎副委員長より、下記の報告及び
総括がなされた。

「残暑厳しい日であったが、コース
のコンディションは素晴らしく、男
女共に、好成绩であった。男子トッ
プは初参加の金子選手が澤田選手と
並んで69ストロークをマークし次回
プレーオフ、80ストローク以降は次
回よりの出場停止、また、女子は優
勝が72ストロークといずれも高レベ
ルであった」。

エントリー数他は以下のとおり

開 催 日 平成12年8月28日(月)
コ ー ス 平川カントリークラブ
エントリー 135名(男子91名、女子44名)
欠 席 者 数 事前連絡9名(男子)
当日連絡 2名
(男子1名、女子1名)

無 断 欠 席 0名

出 場 者 数 124名(男子81名、女子43名)

科 罰 者 1名(女子=遅刻)

ミーティング欠席 1名(男子=無断欠席)

失 格 者 0名

棄 権 者 0名

次回プレーオフ

《男子》金子朋弘、澤田信弘

2. 月例出場資格者の件

システム再構築中のため、完成次第、
委員会にて報告。

3. 9月のテーマ

- プレーの進行に留意し、前の組と
の間隔をあげないよう、注意する
こと
- 使用しないティ・グラウンドの歩
行を禁止する

4. その他

毎回、プレーの遅延が目立つため、
次回はタイムチェックを行うことと
した。また、それらのデータを基に
し、男女スタート間隔の変更等、検
討することとした。

月例競技成績表

〔平成12年度7月月例〕 7月10日(月) 総武カントリークラブ 総武コース

男子	順位	スコア	氏名	倶楽部名
	1	70	日暮 俊明	扶 桑
	2	71	小林 一三	リバー富士
	2	71	本山 年夫	藤ヶ谷
	2	71	沢田 信弘	東京五日市
	5	72	亀井 隆	鷹 沢
	5	72	徳永 雅洋	ザ・レイクス
	5	72	市川 賢	東京国際

コースレート72.9

女子	順位	スコア	氏名	倶楽部名
	1	72	南雲 真理	岡部チサン
	2	78	関根奈穂美	セントラル
	3	79	五十嵐洋子	藤 岡

コースレート70.1

〔平成12年度8月月例〕 8月28日(月) 平川カントリークラブ

男子	順位	スコア	氏名	倶楽部名
	1	69	沢田 信弘	東京五日市
	1	69	金子 朋弘	皇月・佐野
	3	70	中野 正義	霞ヶ浦出島
	4	71	飯塚 裕一	藤 岡
	4	71	浮ヶ谷信夫	総 武
	4	71	杉山 稔	総 武
	4	71	角田 充弘	富 里
	4	71	斎藤太津規	扶 桑
	4	71	西本 聖	鳳 琳

コースレート70.7

女子	順位	スコア	氏名	倶楽部名
	1	72	菅原亜矢子	京
	2	75	矢島智都子	富 士
	3	77	五十嵐洋子	藤 岡
	3	77	岡橋 早里	オーク・ヒルズ

コースレート69.2

※男子1位タイの沢田、金子の両氏は、次回月例にてプレーオフを行ない、優勝者を決定する

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。

倶楽部名
●(新)四季カントリークラブ
(旧)フォー シーズン カントリークラブ
●(新)ファイブエイトゴルフクラブ
(旧)サイプレスカントリークラブ

理事長
●黒磯カントリー倶楽部
(新)三木 俊治 (旧)長谷川隆太郎
●ファイブエイトゴルフクラブ
(新)選任中 (旧)得平 文雄
●赤羽ゴルフ倶楽部
(新)戸井 卓雄 (旧)山口 進
●東京国際カントリー倶楽部
(新)藤原 良光 (旧)山本 忠義
●大箱根カントリークラブ
(新)三上 豊 (旧)山口 弘毅
●横浜カントリークラブ
(新)相山 武彦 (旧)相山 武夫
●伊豆下田カントリークラブ
(新)相山 武彦 (旧)相山 武夫
●函南ゴルフ倶楽部
(新)俣谷 利幸 (旧)松永 太

倶楽部代表者
●日本海カントリークラブ
(新)中田 邦彦 (旧)中田 久蔵
●黒磯カントリー倶楽部
(新)細木 力 (旧)長谷川隆太郎
●ファイブエイトゴルフクラブ
(新)選任中 (旧)筒井 弘
●オールドオーチャードゴルフクラブ
(新)北川 猛 (旧)野呂 正則

●鶴ヶ島カントリークラブ
(新)工藤 善明 (旧)小西 正彦
●日本カントリークラブ
(新)大橋 幸雄 (旧)国貞 明良
●鷹之台カンツリー倶楽部
(新)近藤 暎 (旧)佐藤 栄一
●赤羽ゴルフ倶楽部
(新)戸井 卓雄 (旧)山口 進
●東京国際カントリー倶楽部
(新)藤原 良光 (旧)山本 忠義
(新)田村 幸男 (旧)北村 昭夫
●大箱根カントリークラブ
(新)三戸 厚 (旧)山口 弘毅
●横浜カントリークラブ
(新)相山 武彦 (旧)相山 武夫
●函南ゴルフ倶楽部
(新)俣谷 利幸 (旧)松永 太
(新)久保田 旨一

支配人
●プレスカントリークラブ
(新)本藤 亮
(旧)水谷 徳夫(総支配人)
●鬼怒川森林カントリークラブ
(新)加藤 四郎 (旧)西田 光男
●タイホーカントリークラブ
(新)野見山祐輔
(旧)大澤 勇夫(総支配人)
●鶴ヶ島カントリークラブ
(新)工藤 善明 (旧)小西 正彦

東京事務所
●伊豆スカイラインカントリー倶楽部 閉鎖

会社名
●(新)樹ファイブエイトゴルフクラブ
(旧)樹サイプレスカントリークラブ

HDCP
●グランステージカントリークラブ 丸子コース
●→G-sys
●諏訪レイクヒルカントリークラブ
未定→●
●長野国際カントリークラブ
●→G-sys
●グラヴェ・ヒル・クラシックゴルフクラブ
●→G-sys
●鬼怒川カントリークラブ
○→G-sys
●杉ノ郷カントリークラブ
○→G-sys
●廣済堂埼玉ゴルフ倶楽部
○→G-sys
●埼玉ゴルフクラブ
▲→G-sys
●大栄カントリー倶楽部
未定→●
●伊豆下田カントリークラブ
●→G-sys
●サザンクロスカントリークラブ
○→G-sys
●ミオス菊川カントリークラブ
●→G-sys

平成13年度 関東ゴルフ連盟主催競技日程が変更しました。

関東倶楽部対抗 長野地区 松本浅間カントリークラブ 5月22日(火)に変更

平成12年10月1日発行 KGA ニュース No.72
発行所/関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03) 5275-0391
発行人/福田 彰 編集/広報委員会